

岩手山

○概況

火山活動は穏やかに経過しました。
黒倉山山頂の噴気の状態に変化はみられませんでした。

地震活動の状況

火山性地震の月合計回数は 32 回でした（11 月 45 回）。
 ・東岩手山（山頂付近）では、やや深いところ（深さ 10km 前後）を震源とする低周波地震が引き続き観測されていますが、2004 年 4 月以降回数の少ない状態が続いています。
 ・西岩手山（大地獄火口～姥倉山）では、震源が精度良く求まる地震はありませんでした。
 ・岩手山西側では、滝ノ上付近や三ツ石山付近が震源とみられる地震が引き続き発生しています。
 火山性微動は観測されませんでした。
 モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は、4 回観測されました（11 月 1 回）。

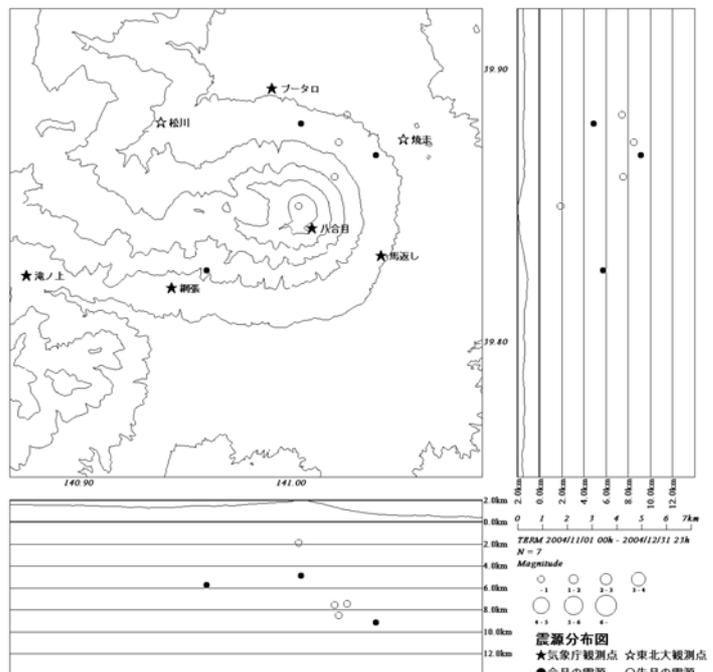
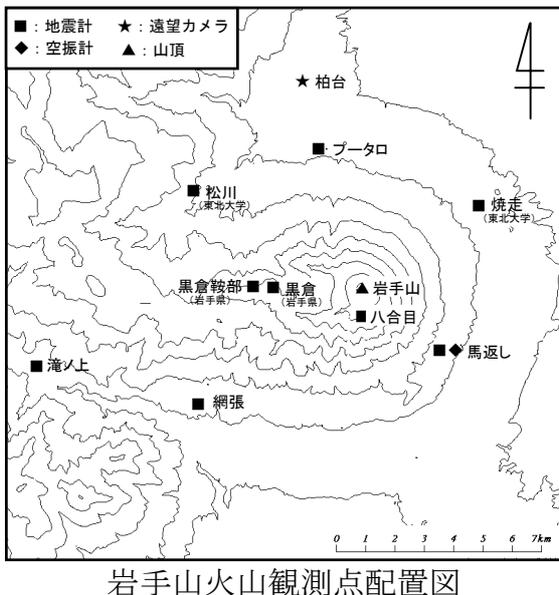
噴気活動等の状況

遠望観測（監視カメラ）では、黒倉山山頂の噴気の高さは、14 日と 26 日に 100m を観測しました。特に 26 日は、大地獄谷や西小沢の噴気が屏風尾根上 100m の高さまで観測されました。いずれの日も、上空に寒気が流れ込む等の気象条件が大きく影響していると推測されます。
 その他の日は概ね 50m 以下で経過し、異常はみられませんでした。

机上観測による状況

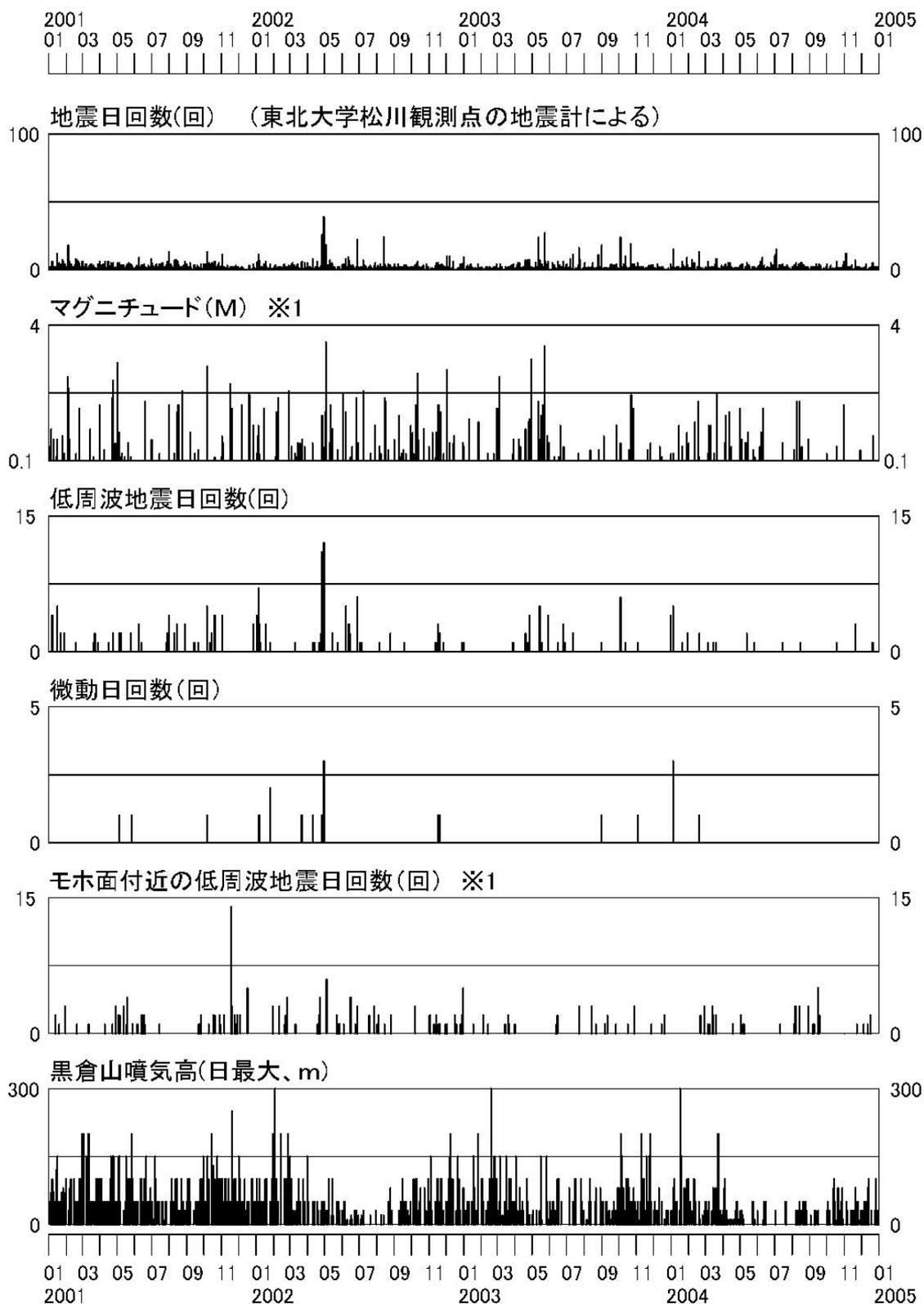
12 月 9 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力による机上観測を実施しました。岩手山山頂の融雪域、大地獄谷、黒倉山の噴気の高さなどは通常の範囲内で異常はありませんでした。
 また、黒倉山山頂から西に伸びている地熱地帯の裸地は、うっすらと雪に被われており、地温の低下傾向がみられます。

※この資料は、東北大学及び気象庁のデータを基に作成しています。



岩手山 活動一覽

2001/01/01～2004/12/31



※1 弘前大学、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。

上空からの観測結果 (平成 16 年 12 月 9 日実施)

山頂付近—地熱による雪融けの範囲は、妙高岳南東斜面や奥の宮神社周辺、お鉢南東斜面の一部で確認されましたが、異常はみられませんでした。

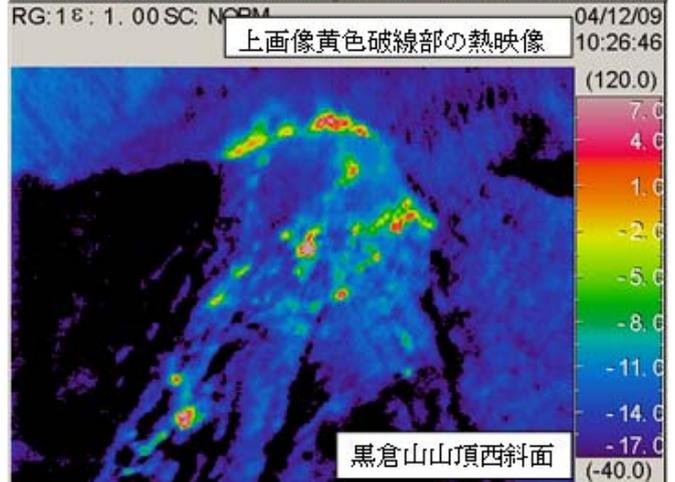
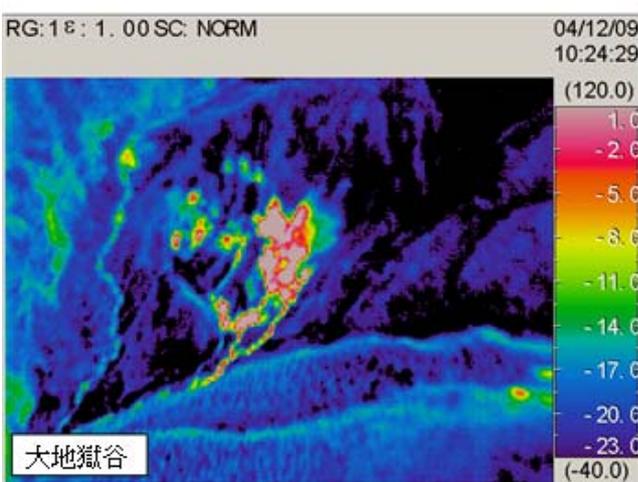
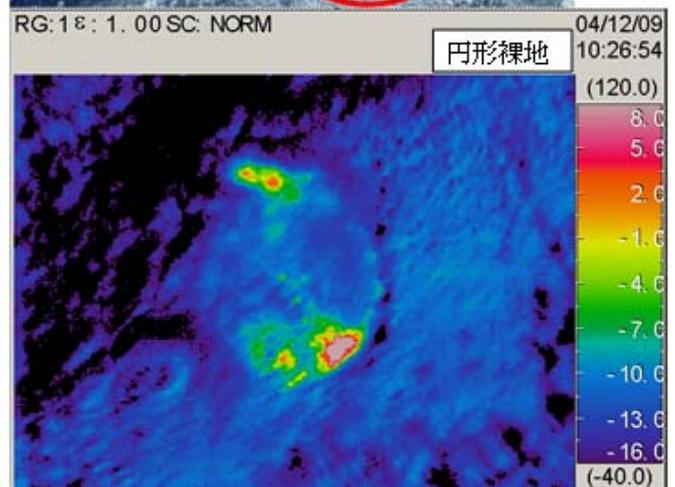
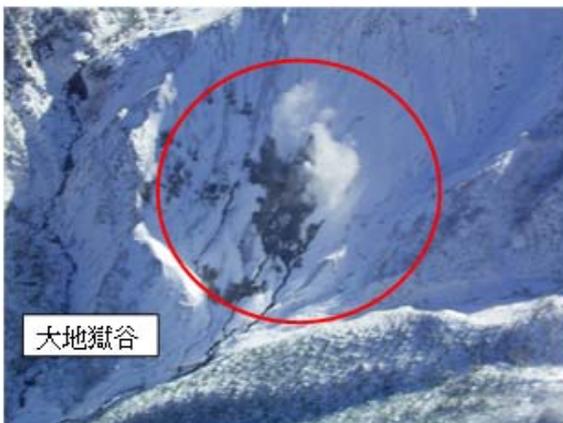
大地獄谷—噴気は 3、4 箇所、噴気孔から高さ約 30m までしており、噴気孔周辺に硫黄の飛沫も確認されず、異常はみられませんでした。

西 小 沢—噴気地熱地帯に大きな変化はなく、異常はみられませんでした。

黒倉山頂—噴気の高さは 20m で通常の範囲でした。山頂の西に伸びていた地熱地帯の裸地は、今回の観測で、うっすらと雪に被われており、地温の低下傾向がみられます。

黒倉～姥倉山—稜線沿いの雪融け範囲は、前回 (昨年 12 月) のへり観測時と同じでした。

その他の観測点でも、異常は見られませんでした。



大地獄谷の画像(2004.12.9)

黒倉山頂西側の画像(2004.12.9)